Japan Water 2012　:　水に関する国際研究・教育プログラムへの日本からの発信
ー若手研究者のキャリアアップとジャパン・イニシアティブー
（2012年10月15日　文部科学省・第1講堂）

第3セッション:「水関連学協会による活動」

我が国の水関連学協会の動向

檜山 哲哉

総合地球環境学研究所（地球研）
日本学術会議 IUGG分科会 IHAS 小委員会

アンケート内容

- 基本情報に関する質問
  - 定例学会の時期
  - 会員数
  - 和文会誌の状況
- 国際的な活動に関する質問
  - 英文誌の有無（論文数）
  - 国際的な取り組み
  - 対応する国際学会
  - JpGU で企画している国際誌への対応
- 若手キャリアアップに関する質問
  - 若手研究者のキャリアパスに関する活動状況
- その他のご意見

アンケート内容

- 基本情報に関する質問
  - 定例学会の時期
  - 会員数
  - 和文会誌の状況
- 国際的な活動に関する質問
  - 英文誌の有無 （論文数） ･･････････⇒ ①
  - 国際的な取り組み
  - 対応する国際学会 ･････････････････････････⇒ ②
  - JpGU で企画している国際誌への対応 ･･････････⇒ ③
- 若手キャリアアップに関する質問
  - 若手研究者のキャリアパスに関する活動状況
- その他のご意見

ご回答頂いた学協会
（アンケート回答順）

↓ 会員数

• 日本地形学連合	508（うち女性：　?）
• 日本雪氷学会	945（うち女性：62）
• 日本地下水学会	720（うち女性：40）
• 日本陸水学会	776（うち女性：　?）
• 日本農業気象学会	734（うち女性：　?）
• 農業農村工学会	9,384（うち女性：　?）
• 日本水環境学会	2,014（うち女性：229）
• 水文・水資源学会	1,316（うち女性：100）

① 英文誌

- 独自に、あるいは商業誌などの形で発刊：
  - ⇒ 日本雪氷学会 「Bulletin of Glaciological Research」
  - ⇒ 日本陸水学会 「Limnology」
  - ⇒ 日本農業気象学会 「Journal of Agricultural Meteorology」
  - ⇒ 農業農村工学会 「Paddy and Water Environment」
  - ⇒ 日本水環境学会 「Journal of Water and Environment Technology」
  - ⇒ 水文・水資源学会 「Hydrological Research Letters」

（※ 備考：上記で緑色はオープンアクセスジャーナルとして発刊のもの）

- 商業誌の一部を特集号として発刊：
  - ⇒ 水文・水資源学会 「Hydrological Processes」

② 国際的な取り組み（対応する国際学会 など）

- 日本地形学連合：　国際地形学協会、国際地理学会議（の傘下）
- 日本雪氷学会：　国際雪氷学会
- 日本地下水学会：　国際水文地質学会
- 日本陸水学会：　韓国陸水学会、国際理論応用陸水学会
- 日本農業気象学会：　特になし
- 農業農村工学会：　国際水田・水環境工学会、国際農業工学会、国際かんがい排水会議、国際水田・水環境ネットワーク、国際大ダム会議
- 日本水環境学会：　国際水学会
- 水文・水資源学会：　アジア太平洋水文・水資源学会、韓国水資源学会、中国水利学会

③ JpGU で企画している国際誌への対応

- 現在の電子ジャーナルを維持しつつ、発刊に協力する方向。

    ⇒　　（日本雪氷学会）

    　　　（日本陸水学会）

- 固体地球ジャンルの英文誌という認識。他の水関連学協会の参加が無ければ、この国際誌に掲載される水関連研究論文は、地下水（水文地質）関連の研究だけになってしまう（と危惧している）。他学会の動向をみたい。

    ⇒　　（日本地下水学会）

- JpGUとの連携を重視。この新ジャーナルに関する情報を得て、水文学の発展を図りたい。編集委員1名を、本学会より推薦。

    ⇒　　（水文・水資源学会）